

令和7年度 第1回 印西市社会教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和7年7月25日（金）
14時00分から16時45分まで
 - 2 開催場所 印西市役所 農業委員会会議室
 - 3 出席委員 松崎委員、押田委員、青井委員、杉山委員、
泉委員、小林委員、馬場委員、箱崎委員、
片倉委員、山本委員、小島委員、石川(智)委員、
香取委員、土屋委員
 - 4 欠席委員 高橋委員、石川(久)委員、今野委員
 - 5 事務局の出席 印西市生涯学習課
中嶋課長、海老原係長、櫻井主査、平山主査補、
宮崎主事、鈴木社会教育指導員
 - 6 内容 議事
(1) 議長・副議長選出について
(2) 会議録署名委員について
(3) 令和7年度生涯学習関連事業について
報告
(1) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について
その他
(1) 印旛郡市社会教育委員視察研修について
(2) 令和7年度印西市社会教育委員会 会議の日程について
(3) その他
 - 7 会議要旨
- 議事（1） 議長・副議長選出について
- 会 長：青井 眞吾 委員
副会長：松崎 比呂美 委員
- 委員 意見・質疑なし
議事（1）について承認をいただいた。
- 議事（2） 議事録署名委員の指名について
- 押田 正雄 委員、杉山 和也 委員を指名

議事（３）	令和７年度生涯学習関連事業について
事務局	事務局より議事（３）について説明
委員	説明の中で備考欄の修正があったようだが、修正箇所をお伺いします。
事務局	資料１別紙１、市民アカデミーの開催数の活動指標で中央付近にあります備考欄の中に（Ｒ３）２５人、（Ｒ４）３０人、（Ｒ５）３１人とありますが、単位が人数ではなく正しくは回数で、（Ｒ３）２５回、（Ｒ４）３０回、（Ｒ５）３１回となります。
委員	活動指標の目標値が 76 回となっているが、当初の目標値を途中で修正することはできないのでしょうか。
事務局	この計画ができたのは印西市総合計画で 5～6 年前で、その時の市民アカデミーは年間 50 回の講座を実施しておりました。2 年間で 1 つの授業であり、1 年生が 50 回、2 年生は 20 回くらい集まって実施していたため、目標値を 76 回としております。 しかし、その後コロナが流行したことや、受講生の中にはさすがに 50 回は厳しいといった意見が出ていたことなどから、現在は 1 年生に対して 25 回に減らして、より参加率を増加させる内容になっております。実績としては半分くらい減っていますが目標値を次の印西市基本計画の見直しの際に、こちらの目標値も現在の実績に見合った目標値に見直していきたいと考えております。
委員	確認ですが、目標値の 76 回というのは過去 3 年間の実績からですか。
事務局	以前は 3 年生まででありましたので、3 年生まで含んだ 76 回ではないかと思われます。現在 2 年生まで事業を実施しております。
委員	令和 7 年度は目標値を 76 回で来年度以降は見直すことでよろしいですか。
事務局	令和 8 年度までは現在の目標値で令和 9 年度からの目標値を改めることになります。
委員	ワクワクするようなテーマが欲しいですね。私が受講生だったころは竹中工務店が建築のことで環境に配慮した研究をしたりしているところを見学できて、それまでは竹中工務店はゼネコンの一社だと思っていたんですが、見直しました、彼らはモノを作るという観点で、作品を作るというマインドを持って取り組んでいる人たちが多いことかわかり再評価しました。これまでは順天堂大のスポーツ科学科、印西市にある企業や学校、昨年はグーグルを訪問したんですよね。

- 事務局 グーグルのデータセンターを視察したんですが、やはりデータセンターは機密性の高い施設ということで、受講生からのご意見があまり芳しくはなかったです。
- 委員 データセンターそのものが倉庫などと同じであり雇用を生まない施設ですから、特定の人が働いていることを一般の人たちは知っているかどうかは別ですが。
- 事務局 施設の中を見ることができるわけではありませんので、端末を見られるわけではないんですが、厳重に管理させている雰囲気などを感じていただくことでも何かしらの学びにつながるのではないかと思います。
- 委員 地域の歴史に関するようなことや、あるいは私は地域の里山を中心とした活動をしているんですが、気づきを得られるようなテーマを持っていたらよいのではないかと思います。
- 委員 確認ですが、成果指標Cの目標値 60 とありますが、令和7年度の1年生、2年生の両方の数字ですか。
- 事務局 はい、こちらは令和6年度と7年度を合わせた数字で、1学年30人で募集していますので、1年生と2年生を合わせて60人となっております。
- 委員 その右側の備考の数値は、1学年の数値なんですね。
- 事務局 1年生の応募があった人数です。
- 委員 令和6年度と7年度の数値を教えてくださいませんか。
- 事務局 令和6年度は30人の募集に対して、29人の新入生を迎えております。
- 委員 ちなみに令和7年度は何人ですか。
- 事務局 令和8年度は1年生が18人です。
- 委員 テーマ設定をどのように決めているのかという点を教えてくださいませんか。
- 事務局 テーマの設定についてですが、必ず振り返り用紙を書いていただいて、1年間で振り返って、どんな講座があって、講座の評価であるとか、学生の声を聞きながら1年間のテーマを決めて講座を決定しています。
- 委員 1年生の意見が翌年度に生きるということでしょうか。

- 事務局 やはり行政ですので、予算時期が秋頃になってしまうのと、さらにもう 1 年前の意見が反映されることもあります。
また同じ内容のものを複数年続けると飽きが来たり時代に合わなかったりすることもありますので、新しいものを入れた構成にすることもあります。
- 委員 昨年度は事業計画一覧を資料でいただいた気がしますが、できていますか。
- 事務局 すみません、まだできていません。只今作成しております。
- 委員 早い段階で事業計画を委員の皆さんの目に触れるようにしていただくようお願いします。
- 委員 別紙 1 の懸念点に受講生の高齢化が懸念されるとありますが、高齢の方が受講してはいけないということでしょうか。昨年も同様のことを言ったと思いますが。
- 委員 前任の担当者はそんなことはありませんと否定していましたが・・・。
- 委員 実質こうした方式で講座を設けられると、年間 24 回で月 2 回位でしょうか。平日の昼間か土曜日、コンスタントに出られる学生さんを考えると例えば、会社に勤めていて印西市に住んでいるけど印西市のことをよく知らない人が、市民アカデミーに入って印西市を知るきっかけになるわけですから、大事な学生と認めていって、卒業後もリモートで飲み会をするくらい仲間意識が深くなるなど、例えば木刈の人といには野の人が友達になれるようなすごいシステムなわけですね。印西市のまち全体を高め、深めていくというところに繋がっていくわけですからその辺をもう少し、考えると一つは募集が少ない、もっとたくさんの規模の人が入ってくるにはどうしたらよいのか、そう考えると市民アカデミーの内容のレベルが少し高すぎる、最後にレポートを書いて文化ホールで発表するのはハードルが高いですね、そういうコースもあってもいいし、そうでなくて週 2 回授業を受けに行って友達を作るだけで十分といったようなコースを設定してもいいのかなと思います。コースの多様化で、たくさんいろんな人が入ってこれるような内容であってもいいのかなと思いますがいかがでしょうか。
- 事務局 高齢化の年齢層ですが 80 代 90 代で体力的な面を含めて、このような書き方をしているのかなと思います。決して高齢者の方が受講してはいけないということではありません、たくさんの方に学んでいただき、市の地域づくり等に貢献していただき、日々の生活の中に取り入れてもらえればそれに越したことはないのかなと考えています。カリキュラムの内容についてですが、今年度担当になり、昨年度の内容を見たところ難しいのではないかと正直思いました。文化ホールでの発表についてもデータでみるとかな

りレベルが高いのかなと、昨年度が 29 人で今年度が 18 人というのを見ると、そうゆうことが影響しているのかなと感じます。今年度は 18 人でスタートしていますので、この 18 人が上手に 2 年生につながり、基本的に市民アカデミーの目的は地域づくりに参加していただく人材の育成だと思いますので、最初からあまり詰め込みすぎてしまい難しくなってしまうと離れて行ってしまう恐れがあると考えております。楽しく長くできるといったところから入っていただいて、いろいろなものを学んでいただきながら 2 年生に繋げていけたらいいのかなと考えております。今年度のカリキュラムがすべて完成していないというのは昨年度を見ながら変えていき、今年度の 18 人が来年度 2 年生でそのまま 18 人で卒業していただけるような流れにならないか、遅れてはいますが只今、考えているところでございます。

委員 受講している生徒からのアンケートを反映させていくだけだと意見が狭まってしまうので、もうちょっと広く市民の要望だとか反映できるように意見を募るといいのかなと思います。ちょっと参加してみて、面白いな、卒業目指してみようかなといった方式をとってみるとか、意見の募集の仕方では竹中工務店の話がありましたが、既に協力いただいているところから意見を募ってみるとか、ステークホルダーになっている人などに協力を依頼するなど、もうちょっと広く間口を広めていくことができるのではないかと思います。

委員 今年度も文化ホールで発表を行うということでよろしいのでしょうか。

事務局 とりあえずは、そのように考えております。

委員 やはり、昨年度を見て、あれでプレッシャーを感じる人がどれだけいたんだろうかと私は感じました。すご過ぎて、あれをやらなければいけないのかと、レベルが高すぎると感じました。それと卒業してから活躍する場を知りたいです。この経験を活かしどういった方向で活躍するのか、卒業して終わりではなくて市民の方の活躍できる場があつての市民アカデミーじゃないかなと思うので、是非せつかくあそこまで学習したのだったら何かもうちょっと繋げる何かがあつたほうが……。皆さんの 2 年間の努力の末に燃え尽き症候群にならないかと思ってしまうんですが、市民アカデミーの経験をその後に活かしていただきたい。ふれあいバスを使って市内を歩いた経験が何かに活きるんじゃないかとすごく思います。

委員 ふれあいバスは素晴らしい企画だと思いました。そのまま学校の総合学習に使えないかなと思います。昨年企画して学生さんから何かありましたか。

事務局 大変意欲的に学んでいるので、毎回ごとに知れば知るほど、知りたくなる印西が理想で、卒業研究に使った資料などを用いてあまり無理しないで

できるように改善していくことが大事だと思います。

委員 その他に一括して疑問点があればお願いします。

委員 令和7年度生涯学習事業の計画については、令和6年度第3回会議の議事では14の案があり事業のすべてが承認されましたが、今年度は13から1つ減っていて放課後子ども教室の実施が抜けていますが、その理由を教えてください。もう1つは昨年度の第3回会議の中で令和7年実施計画について中間評価、最終評価をしていくというところで、その時の意見でどんなことをしたかわからないと評価ができないという意見があり活動指標や成果指標のような事業をこれだけやったらできるといった基準を、年度当初に出したほうが良いのではないかといった意見を出しましたが、出ていないのでその理由を聞かせていただきたい。

事務局 昨年度の14事業から13事業に減ったのは、放課後子ども教室ですが、抜けてしまったのは、今年度組織改編があり事業が放課後児童支援係に移ったこともあり、抜けてしまったことはこちらのミスではありますのでご了承くださいたと思います。中間評価につきましては、指標についてですが、前任担当者から引継ぎ不足ということが理由ではありますが、この件については確認して、次の会議の際にご提案できたらと思います。

委員 1点訂正をお願いいたします。10番の青少年健全育成大会の実施は令和7年7月12日に実施していますので訂正をお願いいたします。

委員 家庭教育学級についてよろしいでしょうか、別紙2の課題に児童生徒数が増加している中、家庭教育学級の参加者数、学年学級数が増加していないとありますが、企画はいろいろやっているがあまり実績が伸びていない。まだこの制度を理解している人が少ないので、いんざい君をSNSで活用するなど、家庭教育学級を知ってもらうために何か良い方法はないか。

事務局 参加者数については伸び悩んでいるのは認識しています。共働き世代が増えているので参加しにくいのも承知しています。ご意見の中でのSNSについても検討をしてみたいんですが、家庭教育学級の参加対象者が小学校1年生と中学校1年生あるいは任意で開設している学年となっています。その中で、Twitterですと全体に向けての配信になりますので、現在は行っていないのが現状です。市としましては年に1回、市の主催で講演会を土日に開催することで平日働いている方でも参加しやすいように実施しているところでございます。

委員 学年学級でやっていたんですが、令和5年で木刈小が抜けてしまったんですね。学年学級が減ってしまったんですが昨年度は県の児童相談所の職員が講師として来て、叱らない子育てという講演を行っていただき、結構人も集まったと思います。今年も同様の講演を計画していただいているんで

すが、家庭で悩んでいる人も多いし、虐待やネグレクトといったこともあるので、こういったところに出てきていただき家庭教育学級も増えるといいなと思っています。

委員 家庭教育学級に以前参加していたんですが、今は児童数が少ない学校にもあるんでしょうか。引っ越してきたお母さんが不安になるのは、友達がいなかったか、出会いがないとかなんですね。そこが大事なので、去年も申したんですが1年生の必修が終わるときに、しっかり任意につながるような形を作っていただきたい。1年生で充実させて2年生以降に上がるときにお母さんたちの中でチームが出来るような雰囲気をしっかりつくっていただくことが大事だと思います。きっとまとめ役の人がいると思うのでその人を把握して、つかんでお願いして、小学校6年間、中学校3年間しっかり仲間づくりをしていただきたい。

委員 その仲間づくりの要になるファシリテーターのような人がいるかどうかの把握を市の担当で全てやっていくことにはいかないですね。先ほどA委員から周知が足りないんじゃないかなというお話がありましたが、今は保護者への電子通知ができるようになっているんですね、それを使って家庭教育学級の周知はやっていらっしゃいますか。

委員 本校ではやっております。どこの学校でもやっていると思うんですが、近年は紙を使用したお知らせはほぼ無くなってきており、電子による通知を行ってはいるんですが、結局保護者あてのメールがたくさん来るので、紛れてしまうことがあり、一生懸命発信をして、市役所からのメールが届いたり、学校からのメールが届いたりと保護者には届いてはいるんですが目に留まるかというのと難しいですね。

委員 でも紙も大事で必要な時はありますよね。

委員 周知の仕方ということで、小児科とかの待合室とかにポスターを掲示してもらおうと、保護者の目に留まったりするのかなと思います。

委員 以前、家庭教育学級に参加していた時に役員を決めなくてはいけなかったんですけど、説明もなく何もわからないままくじ引きとかで決めて、いざ役員をやってみたら、すごく色々な方と知り合えてお話も出来てよかったんですが、そういう感じもなく役員をやるのを嫌がる方が多く、泣かれて嫌がる方までいて、すごく勿体ないなと思いました。何を目的でどういうことをするのかを伝えてほしいのと、すごくいい機会なので全体的に周知する方法でもよいのかなと思います。家庭教育学級というのをやっているということをお知らせするのもいいのかなと思いました。あとスクリーンなんですが、直接学校からのお知らせと地域からのお知らせというのが2つ分かれていて地域からの方はあまり見られていないかもしれません。これがどっちでお知らせしていたかは気になりますが。

- 委員 家庭教育学級とはこのようなもので皆さん参加してくださいねといったプリントなどは文書で新入生の家庭には必ず渡されていることにはなっているのでしょうか。
- 事務局 教育委員会から学校へ合計2回依頼しておりまして、最初のタイミングが入学前の入学説明会の時で、入学してから4月にもう1回依頼をしています。市からではなく学校から渡しております。
- 委員 入学説明会で2月の時と入学式に説明しているんですが、入学式あたりで教頭先生から家庭教育学級の委員長、副委員長をやっていただくことを説明していると思うんですが、勤めている人も多いのでなかなか委員長、副委員長が出てこないんですよ。でも委員長、副委員長をやってみるとやってよかったなという方もいて次につながってくるんですよ。
- 委員 私も2月の説明会の時に15分くらいお時間をいただいて、新1年生の説明をしたんですが、教頭先生が説明したり学校によって違うんですが、私は昨年度の委員長として説明をしたんですが、PTA会長と一緒に説明をするお時間をいただきました。いんザイ君のアカウントを作っていんザイ君が情報を発信するとかできないでしょうか。
- 委員 いんザイ君を活用するといった意見がでましたが、只今委員から出ました様々な意見を参考にさせていただいて、少しでも周知していただきたいと思います。校長会や教頭会でどんなアプローチで渡されるのかということで、ある一定の線までは統一してお話ができるのではないかと思います。
- 委員 家庭教育講演会について、昨年度も少し勿体なかったんですが、せっかく講師の先生がいらっしゃるの、まだあらゆる周知ができると思いますので、夏休みには入ってしまいましたが、広報紙もまだ間に合うと思いますので周知をお願いします。
- 委員 8月23日に私たち委員も時間がありましたら積極的に参加していただけたらと思います。よろしくお願いします。
- 委員 議事（3）令和7年度生涯学習関連事業について、その他に意義はありますか。承認としてよろしいですか。
- 委員 異議なし
意見・質疑については以上。
議事（3）について承認をいただいた。

報告（１）	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について
事務局	事務局より報告（１）について説明
委員	希望する学校は８月までに報告するようにはありますが、他の学校からは何もアクションはないのでしょうか。
事務局	現時点ではない状況です。
委員	これは希望しなければならないのですか。
委員	予算取りの関係ですね
事務局	予算については今後の予算編成となりますので、それまでに何校導入するかといったところを定める必要はあります。
委員	（２）の導入予定学校というのは、教育いんざい等で提示したものであって希望する学校はＯＫですか。
事務局	掲示した以外に希望があればご相談させ頂きながら進めさせていただきたい。
委員	あくまで中学校区になっていますが、小学校単独でもありですか。
事務局	中学校区では出しているんですが、設置形態を含めてこの中で検討してもらおう。印西中学校区は１つの協議会ですけども、分けてすることも可能です。
委員	印西中で先行導入している成果とかを報告していただけたらと思いますので、その結果を見て協議会の設置を検討していきたいと思います。 さわコミの整理をして地域学校協働活動を行っていくことにはプレッシャーを感じています。小林中学校区のさわコミは多くの方が参加していただいているので、今までやる気のあった人のモチベーションが下がらないか心配で、さわコミを整理統合するのが少し怖く感じており、導入することが難しいなと思います。
事務局	学校運営協議会の部分と地域学校協働活動の部分が双方あると考えておりまして、学校運営協議会については確かに委員の定数が１８人以内と定めておりますので、定員に収めていただく必要があるのですが、そういった問題は生じるかと思いますが、そのうえで地域学校協働本部については、明確に立ち上がってはおりませんが委員にならなかった人でも協働活動や本部の方でご尽力いただくことがありますので、そういった面でご協力いただけるようにご説明していただけたらと思います。

- 委員 これは是非お願いしたいことなのですが、地域学校協働活動については、これまでも学校が全部やるということではないので、きちんとコーディネーターの人を国が定めるように市の方で導入していただいてコーディネーターの活躍によって地域の協働活動が推進していくような地盤ができてからコミュニティスクールも導入されるとやりやすくなるでお願いいたします。
- 事務局 そこが課題でもあることは承知しているところではありますが、今後は地域コーディネーターについて検討しているところです。印西市においては、まず学校運営協議会の制度を導入することを第1に考えておりまして、次の段階で地域学校協働活動に繋げていくことを考えていますので、一体的推進が推奨されているのは存じてはいるんですが、まずは制度の導入を進めているところでございます。
- 事務局 補足させていただきますと、長期的なビジョンを持つ必要があると思ひまして、コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的な推進というのが最終的なゴールになってくるんですが、そのうえで体制を整備する学校運営協議会を整備してそれから地域学校協働活動をどう機能させるのか、そのためには核となる基礎となってきます。3つ目としましては総合的学習の時間が要となってくる3点を一体的に推進するにはある程度時間がかかると考えておりますので、まずはスタートしていきたいと考えております。
- 委員 来年度導入ということで最初にお話しさせていただいたんですが、今お話しにありましたように中学校区で1つのコミュニティスクールを、または小学校、中学校でそれぞれにメリット、デメリットがあると思いますので生涯学習課の皆さんはさわコミの整理が必要ない中学校ということで選ばれたとのことですが、私は逆に地域協働本部がさわコミになって、そこをつなぐのがコーディネーターで学校評議員さんをコミュニティスクールの運営委員さんに譲って行って、さわコミの人たちとメンバーを入れ替えていったほうが上手に両方同時に作りあがっていくのかなとイメージしています。地域の人材が限られていると思うんですが、中学校区で1つのコミュニティスクールとして、委員さんをお願いしたほうが地域の皆さんはやりやすいのか、学校の立場として考えれば学校ごとにコミュニティスクールが設置されていた方が、自分の学校だけで予定を組んだりとか地域の皆さんと協力したりとか調整がしやすいのではないかと思います。今先行している印西中学校を見てもコミュニティスクールの会議を学校で回していくとそれぞれの学校の教員が委員になる先生方の調整だとかが大変なのかなと感じます。地域としては学校ごとがいいのか学校区でやった方がやりやすいのかについてお聞きしたいです。

- 委員 その問題はすごく深くて、議論し始めるときりがないので、一番根幹の部分だけを言わせていただくと、中学校区で一つという前提はあくまで原山だったら内野小と原山小の児童が原山中に行くのだから、いずれ一緒になるのだからということと、小中学校がカリキュラムで繋がっていることが必要で、つまり小中一貫教育の視点を持っているかどうかなんです。同じ地域ですから学校運営協議会については、トータルで1つ、各小学校、中学校で1つ1つの地域学校協働活動推進員がいる、そしてそれぞれの学校の総合学習に伴う地域の人材をどう確保するかとかが各小中学校で授業に必要なようになってくる。まとめて言いますと小中一貫の学習が一貫教育を前提として学校運営協議会は1つになり、地域学校協働活動はそれぞれの学校に推進委員・コーディネーターを置いて進めていくということに落ち着いていくはずだと思います。
- 委員 地域活動をやっていた方に生涯学習課がコーディネーターを推薦していただいて、その方にも学校運営協議会に入っているという形で地域学校協働本部としては中々形として整わなくて依頼するとコーディネーターの方の人脈だけで一生懸命やってくださっているような形で2年目を終えたという経緯があります。コミュニティスクール自体が学校区でもってコーディネーターが参加できるほうが納得するんですが。
- 委員 印西中学校区の経過報告についてはいかがですか、回数が少ないような気がします。1年目に何か成果が表れるのかどうか、何か物足りないのかか結束できるのかなと思ったりするんですが、あと、さわコミがないからという理由で選ばれているのが、逆に私は地域がある程度まとまっている方がやりやすいんじゃないかなと思いますが、どちらもやってみた方がいいような気がします。
- 事務局 学校運営協議会は年間4回を目安として実施していく。第1回学校運営協議会が行われる前に委員の方に学校に来ていただいて、校長先生から詳しく説明いただき、あと授業参観とか体育祭や運動会などの行事も委員の方には積極的に参加していただき実際に子どもの姿を見ることが評価に繋がると思います。
- 委員 委員の方は何名が印西中学校区で関わられているのか教えてください。
- 事務局 今年度は15人です。
- 委員 どのような関係の方ですか。
- 事務局 各校から5人、事務局の方には教頭先生もいらっしゃるのと校長先生と一般の教諭、保護者代表1人、地域の方が2人で今年度はスタートしています。

報告（１）に関する意見・質問等については以上

- その他
- （１）印旛郡市社会教育委員視察研修について
事務局より説明
 - （２）令和７年度印西市社会教育委員会議の日程について
事務局より説明

以上

会議資料

- 【資料１】令和７年度生涯学習関連事業について
- 【別紙１】多様な学習機会の提供 No2 印西市民アカデミー
- 【別紙２】家庭と地域の教育力向上と青少年の健全育成 No8 家庭教育学級の開設
- 【資料２】学校運営協議会の導入について
- 【別紙１】令和７年度 印西中学校区学校運営協議会の方針・年間計画（案）
- 【別紙２】印西中学校区学校運営協議会 熟議提案書（案）
- 【別紙３】印西市コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

令和７年度 第１回 印西市社会教育委員会議の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和７年８月２５日

印西市社会教育委員

署名委員 押田 正雄

署名委員 杉山 和也